

2024年度事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表本店事業所
2025年2月実施

4人

			はい		どちらとも		いいえ		未記入		改善目標 工夫している点など
			人	%	人	%	人	%	人	%	
環境 体制 整備	1	利用定員が指導 訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	100	0	0	0	0	0	0	外には庭があり、書類上は適切。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	100	0	0	0	0	0	0	定められた人数の職員が配置されているが、職員の急な欠勤などの、対応が課題である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	0	4	100	0	0	0	0	現在はバリアフリーを必要としている子どもはいない。玄関に段差はあるが、室内はフラットです。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	100	0	0	0	0	0	0	日々の打ち合わせで、子どもの対応などに付いて全職員共有し合っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	100	0	0	0	0	0	0	開所1年目で、今回初めてのアンケート調査を行なう。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	100	0	0	0	0	0	0	2月下旬に自己評価表をホームページやいぶき通信で公開する予定。(今年度開所に伴い)
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	4	100	0	0	0	0	第三者評価はないが、担当者が適切に評価している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	100	0	0	0	0	0	0	10月・1月に外部講師を招いての研修を行なっている。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	100	0	0	0	0	0	0	アセスメントツールを用い、その後それを用いたり保護者のニーズや課題を職員で話し合い、いろいろな見方などで客観的に分析し立案している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	100	0	0	0	0	0	0	Jmap、JSIR、LD児等のツールを用い行なっている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	100	0	0	0	0	0	0	職員で話し合いを行ない、意見を集約し立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	100	0	0	0	0	0	0	その日の子どもの状況によって、プログラムを作成している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	100	0	0	0	0	0	0	平日、休日にかかわらず、それぞれに応じた計画を作成している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	100	0	0	0	0	0	0	個別課題やサーキットトレーニングやグループ活動など、小集団での課題を組み合わせ計画を立てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	100	0	0	0	0	0	0	前日の反省から行い、療育の計画、子どもたちへの配慮の仕方、送迎の方法等の話し合いや役割分担、支援の仕方を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	100	0	0	0	0	0	0	送迎終了後その日の療育を振り返り、翌日の療育をどうするか共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	100	0	0	0	0	0	0	療育日誌やケース記録の記入をしていく事で、その中で気づきや反省などを記入して改善に努めている。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	100	0	0	0	0	0	原則として半年に1回、モニタリングを行い計画の見直しをしている。必要に応じて半年以内でも行う場合がある。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4	100	0	0	0	0	0	ガイドラインをいぶきの療育に照らし合わせて支援を行なっている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	100	0	0	0	0	0	いぶき本店を会場として、参加し意見を共有している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	100	0	0	0	0	0	が興亜からのメール配信により情報の共有をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	4	100	0	0	0	医療的ケアの必要な児童は今現在いません。入所明日場合は連絡体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	100	0	0	0	0	0	実際に見学に行き、担当者会議を行ない互い理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	100	0	0	0	0	0	対象の児童がいた場合は、就労支援事業所、生活介護事業所などへの情報を提供できるようにしている。

25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	0	4	100	0	0	0	0	連絡はあるが、助言や研修を受ける機会はなかった。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	100	0	0	0	0	0	0	郊外療育などを通して、交流する機会を設けている
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	100	0	0	0	0	0	0	いぶきグループの代表者が出席し、報告を受けそれに応じた会議を開き意見などを届けてもらっている。。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	100	0	0	0	0	0	0	送迎や家族のお迎えがあった際に、一日の様子を伝えたり、今後の支援に付いて意見等共有している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	100	0	0	0	0	0	0	必要に応じてアドバイスなどを行なっている。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	100	0	0	0	0	0	0	契約、モニタリングや更新の際に説明をしている。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	100	5	125	0	0	0	0	相談をいつでも受けられる体制を取り、随時、助言やアドバイスを行なっている。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	100	0	0	0	0	0	0	10月、1月に外部講師を招いて研修を行い、その際保護者も参加し連携を図った。

